

2012年度決算の概要

2013年4月25日(木)

コマツ

取締役(兼)専務執行役員 CFO

藤塚 主夫

1. 売上・利益

- ・連結売上高は前年比▲4.9%減収の1兆8,849億円。
- ・営業利益は前年比▲17.5%減益の2,116億円、売上高営業利益率は同▲1.7ポイント減の11.2%。

	2011年度実績	2012年度実績 []:1月公表 見通し	前年比
連結売上高	19,817億円	[19,200億円] 18,849億円	▲4.9%
営業利益	2,563億円	[2,300億円] 2,116億円	▲17.5%
売上高営業利益率	12.9%	11.2%	▲1.7ポイント
純利益*1	1,670億円	[1,380億円] 1,263億円	▲24.4%
ROE	17.3%	11.5%	▲5.8ポイント
ネットD/Eレシオ (リテールファイナンス会社を除いた場合)	0.56 (0.28)	0.49 (0.20)	0.07ポイント改善 (0.08ポイント改善)

*1米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

2. 各セグメントの状況

■ 建設機械・車両

建設機械の需要は北米、日本では増加したが、中国の回復遅れ等により全体としては低調に推移。鉱山機械の需要は、石炭鉱山向け以外は減速傾向ながら比較的堅調に推移したものの、インドネシアの石炭鉱山向け需要が減少。これらの結果、前年比減収減益。

■ 産業機械他

大型プレス、工作機械の販売は堅調に推移したが、ワイヤーソーの需要低迷、仮設住宅用プレハブハウス需要の一巡等により、前年比減収減益。

3. 年間配当金: 48円/株(当期純利益に対する配当性向:36.2%) (前期:42円/株)

中間配当金24円/株、期末配当金24円/株 *2、年間計48円/株 (*2 第144回定時株主総会に付議予定)

2012年度 連結売上高と損益

・北米、日本の建設機械需要は堅調、石炭向け以外の鉱山機械需要も減速傾向ながら堅調に推移したが、インドネシアの鉱山向け需要の減少、中国の需要回復の遅れ、ワイヤーソーの需要低迷等により、前年比減収減益。

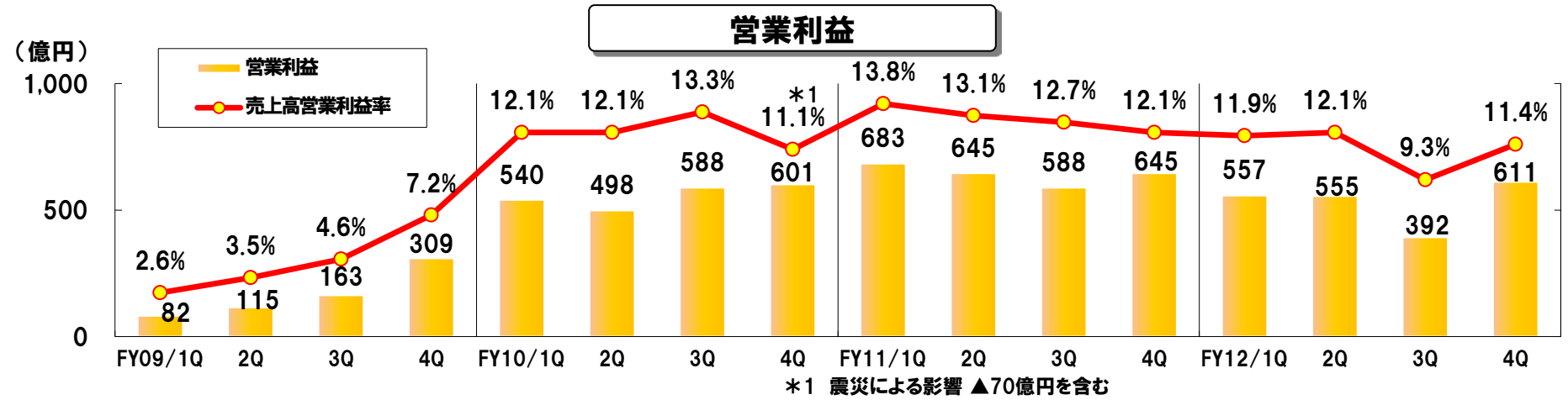
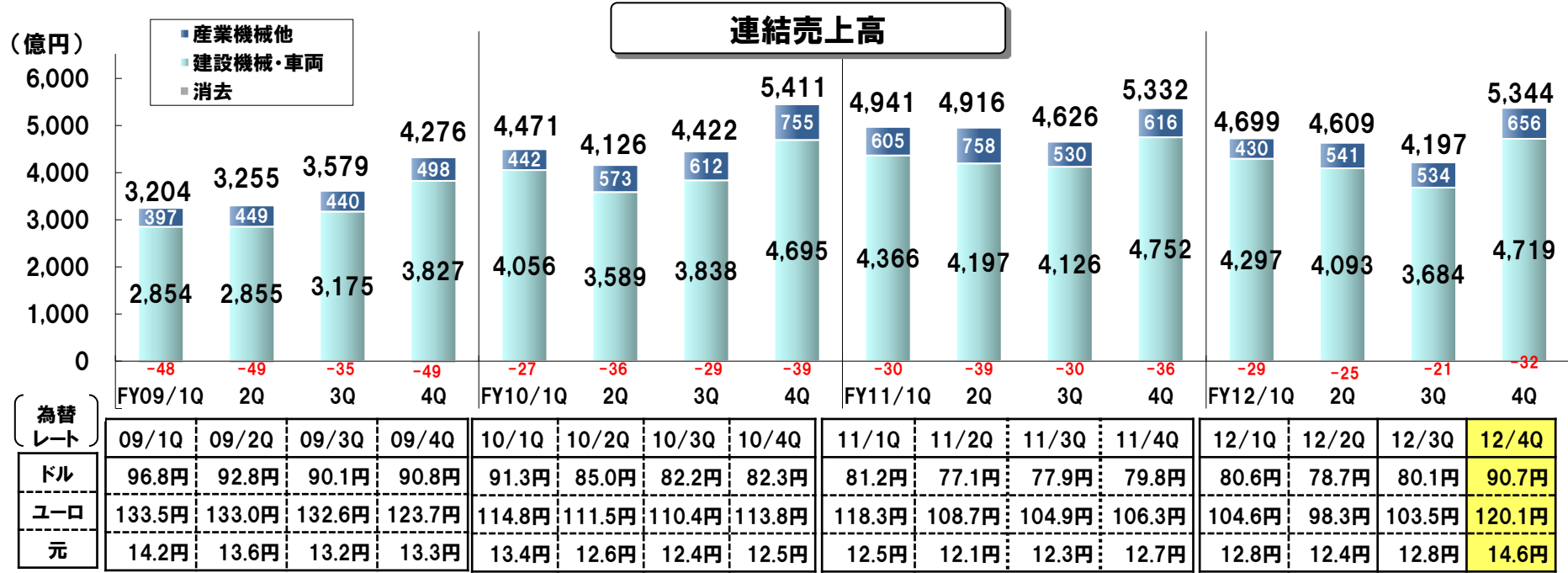
%：利益率 ()：外部顧客向け売上高

金額単位：億円

	2011年度 1ドル=79.0円 1ユーロ=109.6円 1元=12.4円	2012年度見通し (1月公表値) 1ドル=82.0円 1ユーロ=106.0円 1元=13.0円	2012年度 1ドル = 82.5円 1ユーロ = 106.6円 1元 = 13.2円	前年比	
				増減	増減率
売上高	19,817	19,200	18,849	▲967	▲4.9%
- 建設機械・車両	(17,393) 17,442	(17,160) 17,200	(16,770) 16,795	(▲622) ▲646	(▲3.6%) ▲3.7%
- 産業機械他	(2,424) 2,511	(2,040) 2,100	(2,079) 2,162	(▲344) ▲348	(▲14.2%) ▲13.9%
- 消去	▲136	▲100	▲108	+27	-
セグメント利益	13.1% 2,586	12.1% 2,330	11.4% 2,140	▲446	▲17.3%
- 建設機械・車両	14.1% 2,462	13.5% 2,320	12.4% 2,089	▲373	▲15.2%
- 産業機械他	6.7% 167	1.9% 40	2.9% 62	▲105	▲62.9%
- 消去または全社	▲44	▲30	▲11	+32	-
その他の営業収益(▲費用)	▲23	▲30	▲24	0	-
営業利益	12.9% 2,563	12.0% 2,300	11.2% 2,116	▲447	▲17.5%
その他の収益(▲費用)	▲67	▲80	▲69	▲2	-
税引前当期純利益	2,496	2,220	2,046	▲450	▲18.0%
純利益 *1	1,670	1,380	1,263	▲407	▲24.4%

*1 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

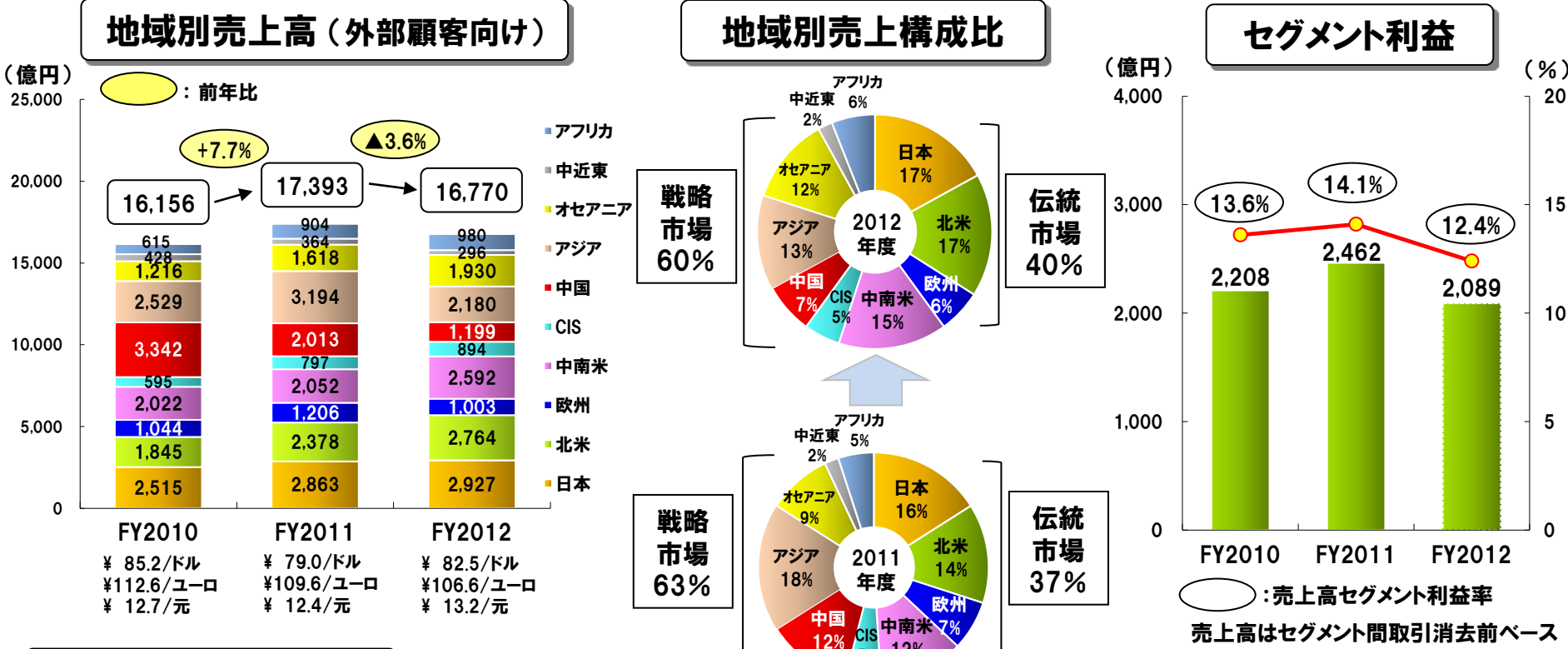
四半期毎の連結売上高と営業利益の推移



<建設機械・車両> 地域別売上高(外部顧客向け)とセグメント利益

・北米、日本の建設機械需要は堅調、石炭向け以外の鉱山機械需要も減速傾向ながら堅調に推移したが、インドネシアおよび中国の需要減等により、売上高は前年比▲3.6%減収の1兆6,770億円。

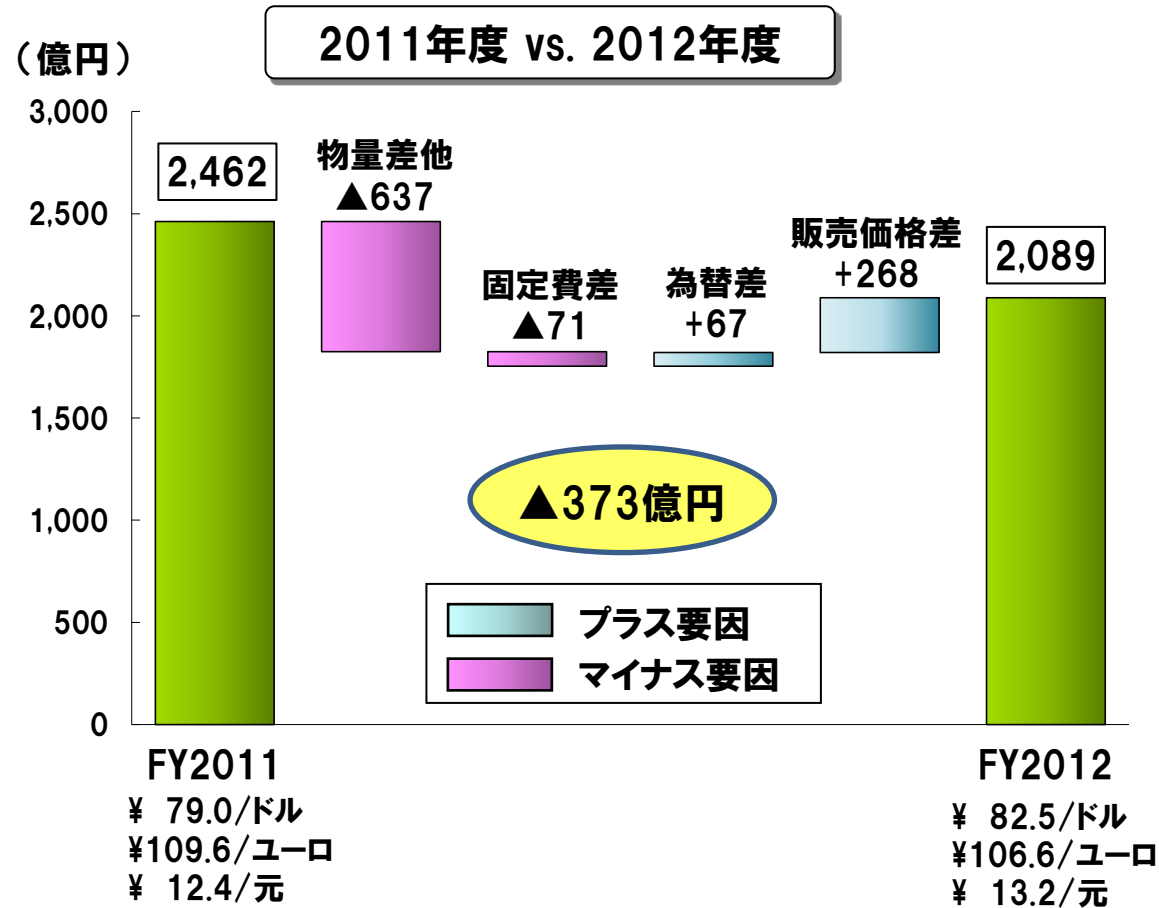
・セグメント利益は前年比▲15.2%減益の2,089億円、セグメント利益率は同▲1.7ポイント減の12.4%。



売上高伸率 (前年比)

%	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2011年度	+13.8%	+28.9%	+15.5%	+1.5%	+34.0%	▲39.8%	+26.3%	+33.1%	▲15.0%	+46.9%	+7.7%
2012年度	+2.2%	+16.3%	▲16.8%	+26.3%	+12.2%	▲40.4%	▲31.8%	+19.3%	▲18.6%	+8.3%	▲3.6%

・インドネシアならびに中国での需要減少に伴う物量減等の影響を、販売価格の改善ならびに為替差により一部カバーしたが、前年比▲373億円の減益。



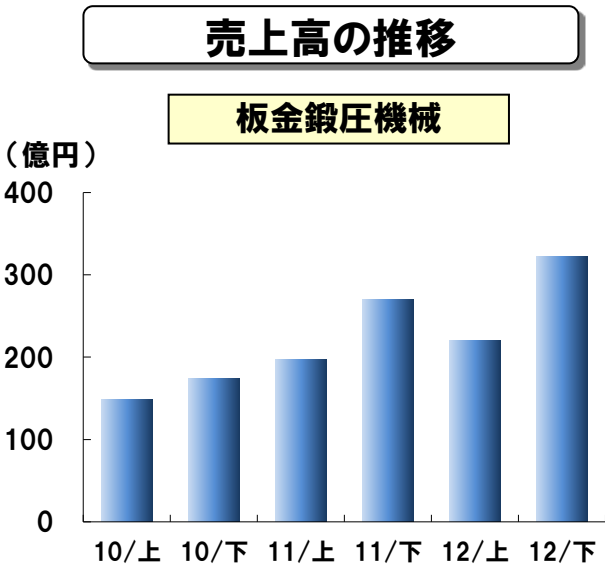
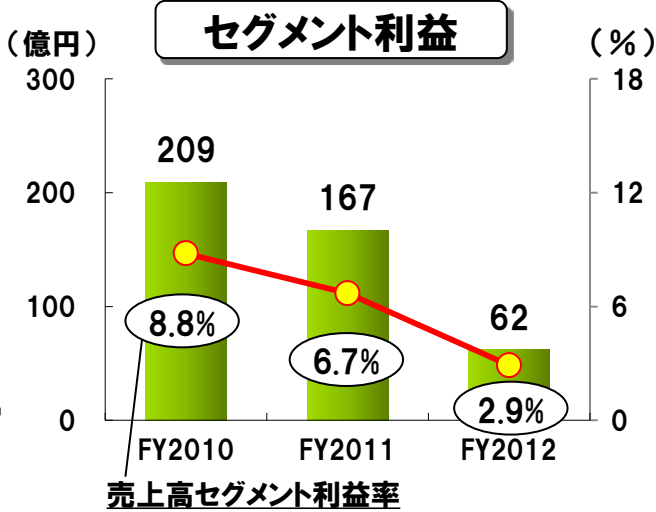
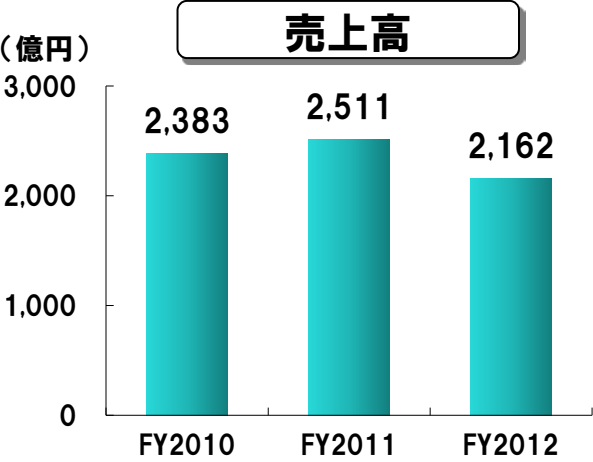
- 【プラス要因】
- ・販売価格差: +268億円
 - ・為替差: + 67億円
- 【マイナス要因】
- ・物量差他: ▲637億円
 - ・固定費差: ▲ 71億円



合計 ▲373億円の減益

<産業機械他> 売上高とセグメント利益

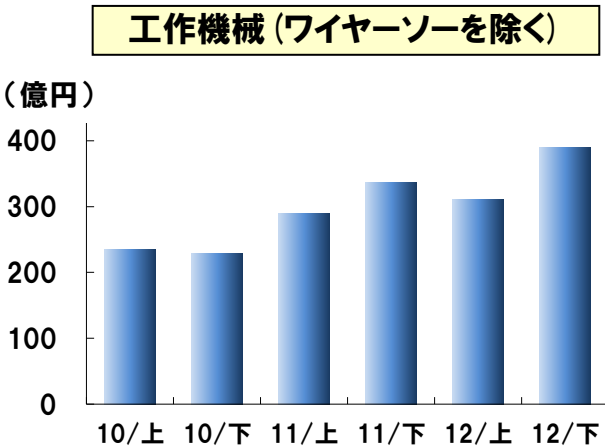
・大型プレス等の板金鍛圧機械や、工作機械の販売は堅調であったが、ワイヤーソーの需要低迷、仮設住宅用プレハブハウス需要の一巡等により、前年比減収減益。



売上高の内訳

	2011年度	2012年度	前年比	
			増減	増減率
コマツ産機等 (板金鍛圧事業合計)	466	541	+75	+16.2%
コマツNTC [うち、ワイヤーソー]	1,088 [465]	773 [73]	▲315 [▲392]	▲29.0% [▲84.3%]
その他 [うち、ギガフォトン] *1	956 [146]	847 [230]	▲108 [+84]	▲11.4% [+57.5%]
その他 [うち、コマツハウス]	[303]	[163]	[▲140]	[▲46.1%]
合 計	2,511	2,162	▲348	▲13.9%

金額単位: 億円

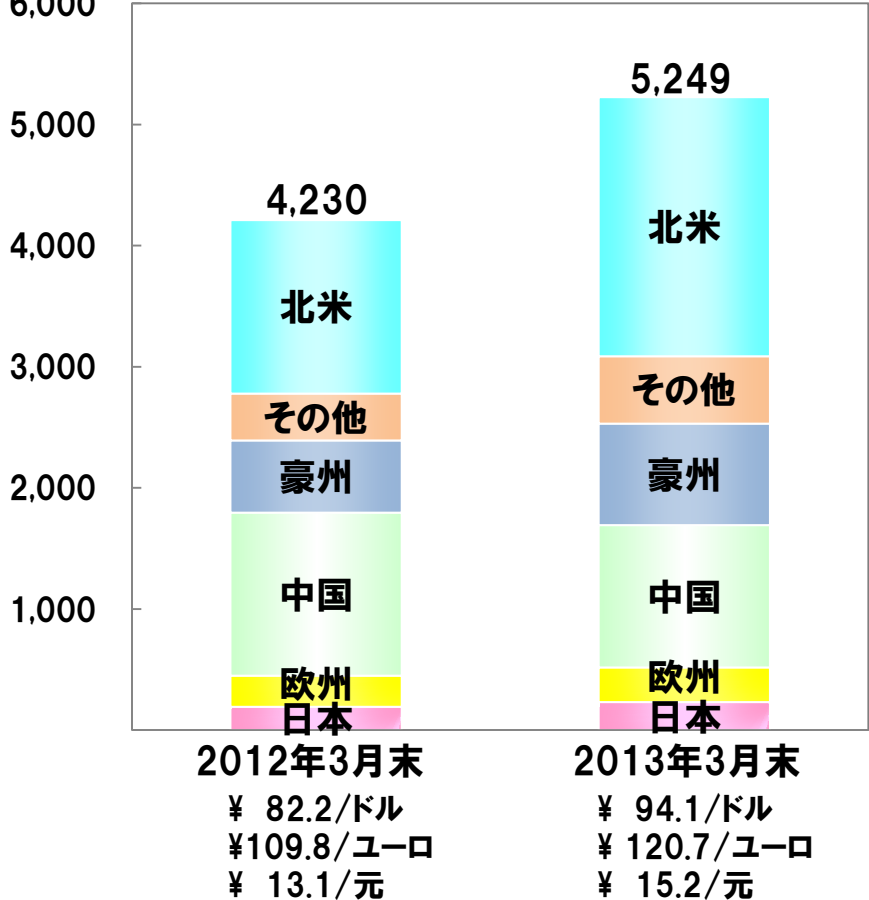


*1 ギガフォンは2011年度第2四半期から新規連結

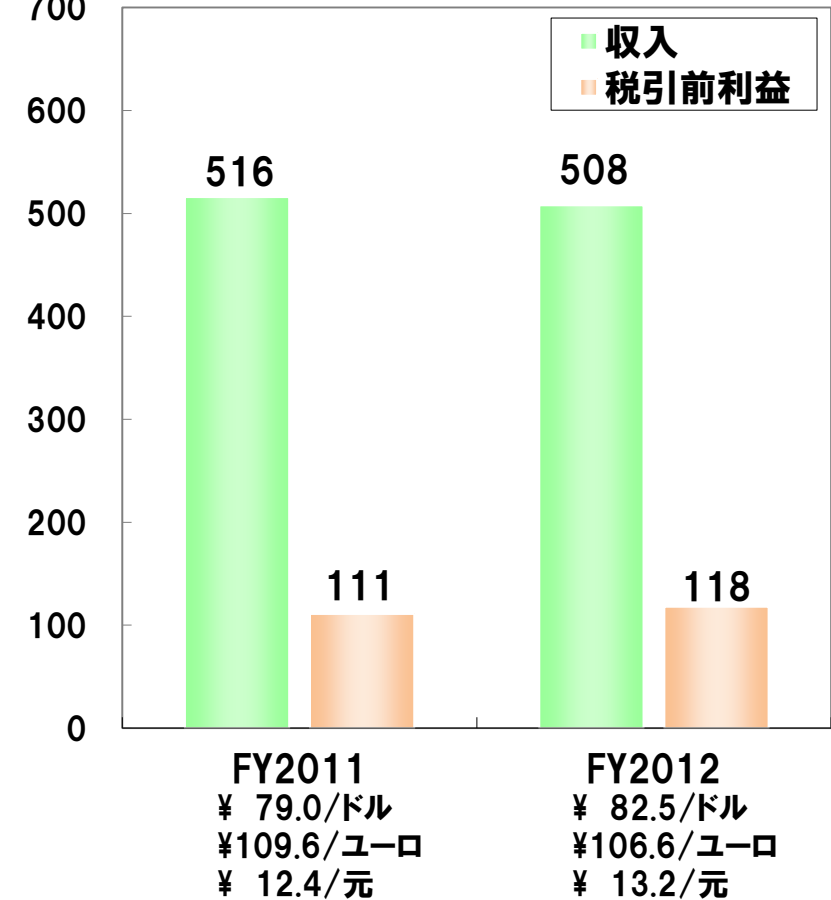
- ・資産は円安の影響に加え、北米、豪州で新規取扱が増えたこと等により2012年3月末比で増加。
- ・収入、税引前利益はほぼ前年並みの水準。

リテールファイナンス連結子会社の状況

1. 資産の状況



2. 収益の状況



連結貸借対照表

- ・総資産は、為替レートが円安となったこと等により前年度末比で+1,973億円増加。
- ・株主資本比率は同+3.9ポイント増の47.4%。ネットD/Eレシオは0.49と、前年度末に比べ改善。

○ ネットD/Eレシオ 金額単位:億円	2012年3月末 1ドル = 82.2円 1ユーロ = 109.8円 1元 = 13.1円	2013年3月末 1ドル = 94.1円 1ユーロ = 120.7円 1元 = 15.2円	増 減
現金・預金(含む定期預金) [a]	839	938	+98
受取手形・売掛金(含む長期売上債権) ＜除くリテールファイナンス会社＞	7,440 <3,975>	8,427 <4,143>	+986 <+167>
棚卸資産	6,123	6,336	+212
有形固定資産	5,296	5,852	+555
その他資産	3,504	3,624	+119
資産合計	23,205	25,178	+1,973
支払手形・買掛金	2,734	2,262	▲471
借入金・社債 [b] ＜除くリテールファイナンス会社＞	6,478 <3,369>	6,797 <2,981>	+319 <▲388>
その他の負債	3,418	3,591	+173
負債合計	12,630	12,651	+20
(株主資本比率) 株主資本	(43.5%) 10,096	(47.4%) 11,931	(+3.9ポイント) +1,834
非支配持分	477	595	+117
負債及び純資産合計	23,205	25,178	+1,973
ネットベースの借入金・社債 [b-a]	○ 0.56 5,638	○ 0.49 5,859	+221
ネットD/Eレシオ(リテールファイナンス会社を除いた場合)	○ 0.28	○ 0.20	

<参考資料>

2013年1-3月(3カ月間)の連結売上高と損益

%

:利益率

():外部顧客向け売上高

金額単位:億円

	2012年1-3月 1ドル = 79.8円 1ユーロ = 106.3円 1元 = 12.7円	2013年1-3月 1ドル = 90.7円 1ユーロ = 120.1円 1元 = 14.6円	前年同期比	
			増 減	増減率
売上高	5,332	5,344	+11	+0.2%
- 建設機械・車両	(4,742) 4,752	(4,713) 4,719	(▲28) ▲32	(▲0.6%) ▲0.7%
- 産業機械他	(590) 616	(630) 656	(+40) +39	(+6.8%) +6.4%
- 消去	▲36	▲32	+4	-
セグメント利益	12.6% 670	11.8% 629	▲40	▲6.1%
- 建設機械・車両	14.2% 673	12.8% 605	▲67	▲10.0%
- 産業機械他	0.1% 0	3.7% 23	+23	-
- 消去または全社	▲3	0	+3	-
その他の営業収益(▲費用)	▲25	▲18	+6	-
営業利益	12.1% 645	11.4% 611	▲33	▲5.3%
その他の収益(▲費用)	▲5	▲20	▲15	-
税引前純利益	639	590	▲49	▲7.7%
純利益*1	376	352	▲24	▲6.5%

*1 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する四半期純利益」

2013年1-3月(3カ月間)の売上高内訳

12

1. 建設機械・車両(地域別: 外部顧客向け)

金額単位: 億円

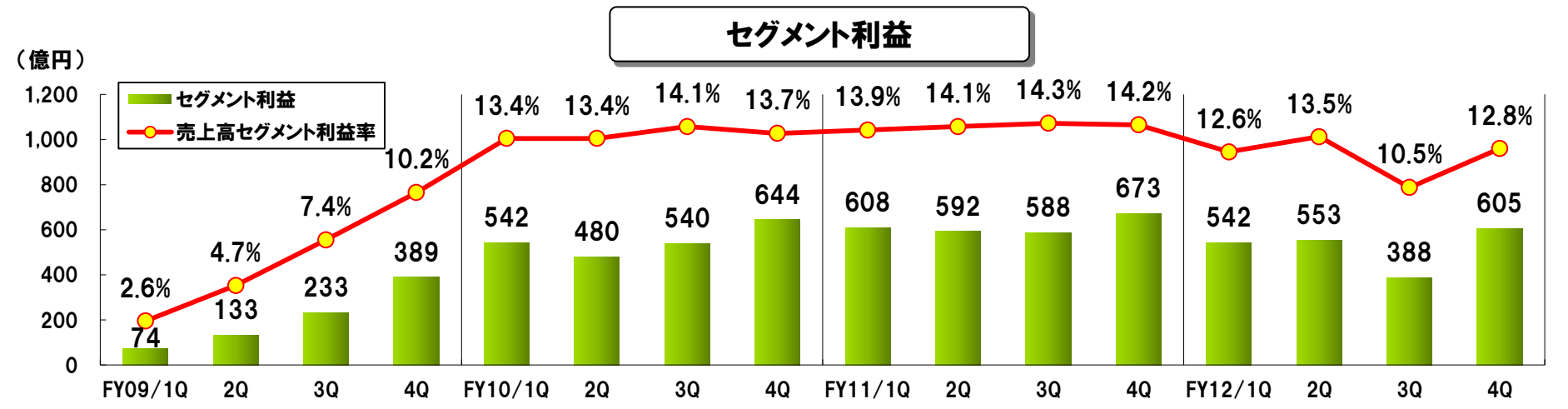
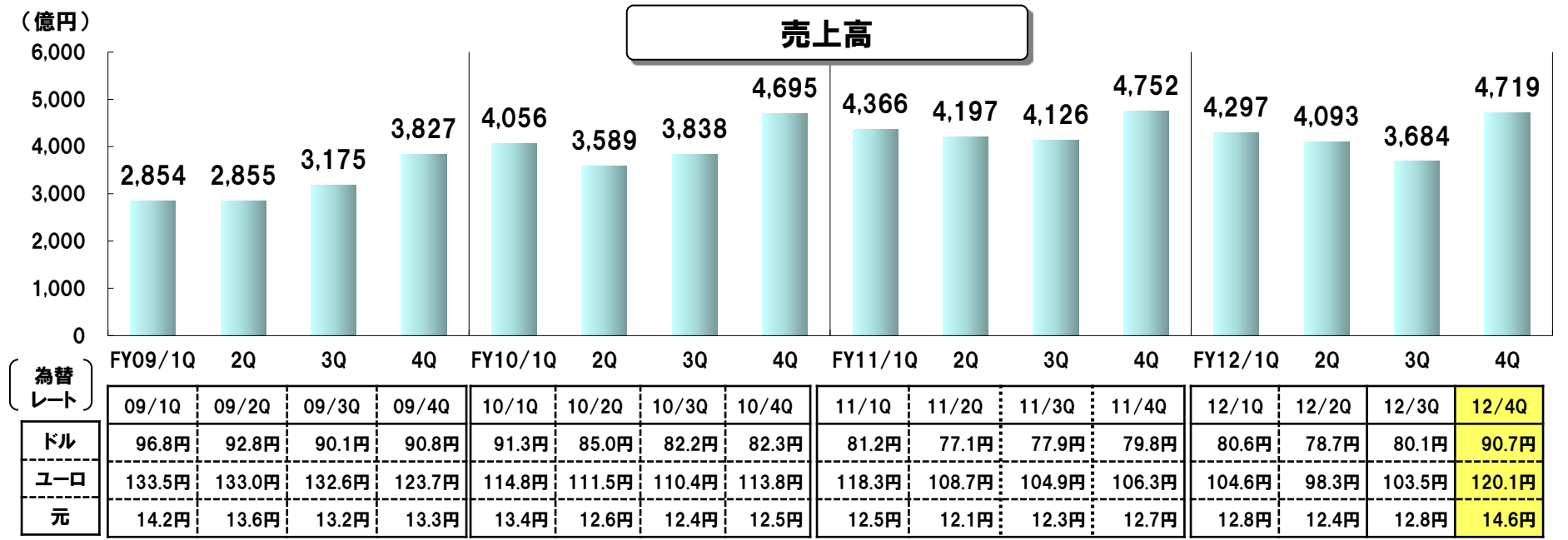
		2012年1-3月 1ドル = 79.8円 1ユーロ = 106.3円 1元 = 12.7円	2013年1-3月 1ドル = 90.7円 1ユーロ = 120.1円 1元 = 14.6円	前年同期比	
				増減	増減率
伝統市場	日本	792	842	+50	+6.3%
	北米	655	944	+289	+44.1%
	欧州	306	265	▲41	▲13.5%
戦略市場	中南米	557	635	+77	+14.0%
	CIS	225	238	+12	+5.5%
	中国	514	369	▲145	▲28.2%
	アジア	840	523	▲316	▲37.7%
	オセアニア	510	502	▲7	▲1.5%
	中近東	81	109	+28	+34.8%
	アフリカ	257	282	+24	+9.6%
合計		4,742	4,713	▲28	▲0.6%
うち、鉱山機械		1,585	1,570	▲15	▲0.9%

2. 産業機械他

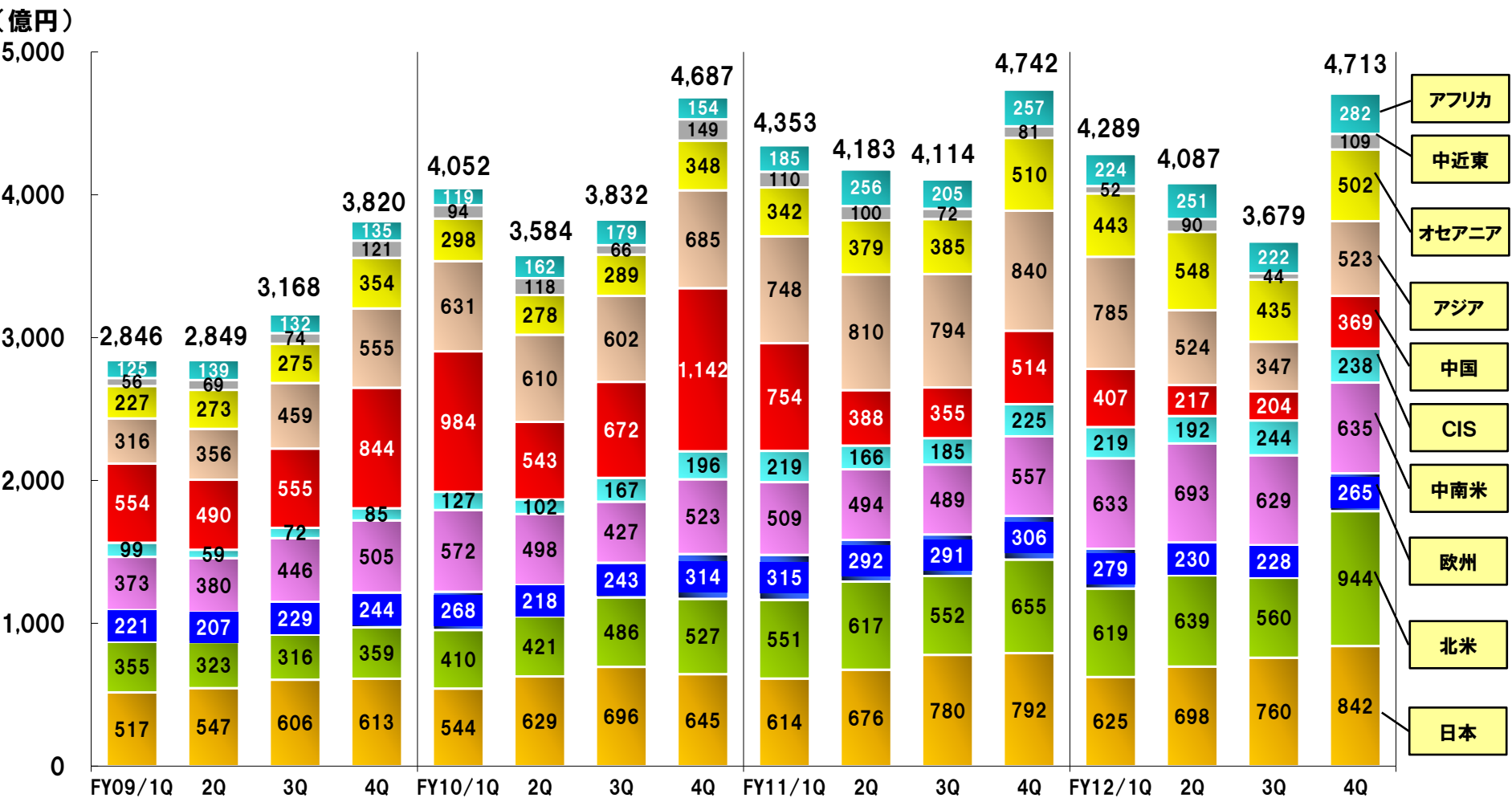
金額単位: 億円

	2012年1-3月	2013年1-3月	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機等(板金鍛圧事業合計)	134	207	+73	+55.1%
コマツNTC [うち、ワイヤーソー]	224 [32]	207 [11]	▲16 [▲20]	▲7.4% [▲64.1%]
その他 [うち、ギガフォトン] [うち、コマツハウス]	258 [45] [71]	241 [75] [57]	▲17 [+29] [▲14]	▲6.7% [+64.6%] [▲20.2%]
合計	616	656	+39	+6.4%

＜建設機械・車両＞四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



<建設機械・車両> 四半期毎の地域別売上高(外部顧客向け)



為替レート

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q
ドル	96.8円	92.8円	90.1円	90.8円	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	78.7円	80.1円	90.7円
ユーロ	133.5円	133.0円	132.6円	123.7円	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	98.3円	103.5円	120.1円
元	14.2円	13.6円	13.2円	13.3円	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	12.4円	12.8円	14.6円

<産業機械他> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

